

ホルムアルデヒドを除去する快適な新型解剖台

健康開発科学 大和 浩、人間情報科学 中島民治 他

利用分野

ホルムアルデヒド（FA）が室内に拡散する前に排気される局所排気型の解剖台を開発し、実習者への曝露濃度を管理濃度（0.1ppb）以下に抑えることで、解剖学実習や病理検体作成時の快適な作業環境を提供する。

シーズ

新型解剖台の導入により、快適な作業環境を保持し、ガイドラインの評価基準値100 ppb以下に抑えることが可能となった。

- ①既存の解剖台を利用、解剖台の四辺に吸込口を設けた解剖台の開発
- ②全体換気装置の排気風量を局所排気として利用
- ③フランジを用いて囲い式フードを形成し、少ない排気風量で曝露防止



ニーズ

国際がん研究機関のFAの発がん性に対して「鼻腔と副鼻腔の発がん性がある」という結論を受け、2008年3月に労働安全衛生法が改正された。FAは特定化学物質特別第2類、管理濃度は0.1ppmに定められ、多くの医学部ではその対応に苦慮している。

連携分野

（財）北九州学術推進機構北九州TLOより、（有）明光メディカル等の6社に実施許諾され、全国の医学部へ商品展開している。さらなる市場拡大のためのパートナーを募集する。



知財保護

特許第4482669号



導入により劇的に解剖実習室の環境が改善されたんだ



本学マスコットキャラクター
ラマティー



産業医科大学

産業医科大学 産学連携・知的財産本部

〒807-8555
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号

問い合わせ先: 研究支援課
TEL: 093 (280) 0532
FAX: 093 (691) 7518
E-mail: chizai@mbx.pub.uoeh-u.ac.jp